

事業所名

キッズ・あいびい～V

支援プログラム

作成日

2024年

10月

18日

法人（事業所）理念		共生と共育 私たちは「ご利用者様・地域社会・社員」と共に育つ企業であり続けます。そして「ご利用者様・ご家族様」の笑顔を大切に、感謝溢れる社会作りを目指します。							
支援方針		利用者が自分の特性を活かしながらそれぞれのペースで生活や遊びを楽しみ課題に取り組むことが出来るように利用者様の目線に立ちじっくり向き合いながら一人一人の発達を大切にしていけます。親子参加イベントなどを通しご家族ご兄弟も一緒に楽しめる企画なども提供しています。仕事をする親御さんの気持ちも考えてご家庭の手助けなども担っていける事業所であり続けます。							
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	日常生活動作における自立を促すための基本的動作を中心に実施する。食事、排泄、衣服の着脱を練習していき、生活動作における自立を目指す。健康状態の把握のための検温の実施により健康状態の観察を行う。							
	運動・感覚	身体機能の維持や向上として室内でのバランスボールや音楽活動を通して身体を動かす習慣作りから外出活動を通して公園などで遊具を使い身体の使い方や身体感覚を養っていきます。室内の制作活動において季節ごとに制作活動を行いハサミや絵の具などを使用し指先の細かな感覚を養いながら支援を行う。							
	認知・行動	制作活動により手先指先を使用することにより物を介した空間認知感覚などを養い時間をかけて作品が出来上がる達成感を味わう。活動の際にタイマーや時計などを活用し時間の感覚や数字に対する認識を感知していく事を通して行動の目安になる為のきっかけを学び行動の切り替えなどがスムーズに行えるように繰り返し積み上げていきます。							
	言語コミュニケーション	他者からの声掛けに耳を傾ける事や、自己発信を行えるように支援していきます。自己表現の手段として上肢や表情を変化させることにより伝える事を楽しんだりそれぞれの特性に合わせてより良い表現方法を一緒に考えて実践していきます。自己表現が他者に伝わる喜びを大切にして発達段階に合わせて介入し成長を促します。							
	人間関係社会性	事業所スタッフやお友だちと関わり人間関係の構築を行います。他者との関わりを通しての社会参加や自己肯定感を高めていき情緒の安定を求めています。また包括的に他者との関わりを持てるように他の事業所との交流を通しての様々な人間関係に対応できるように基礎的な社交性を伸ばしていけるように支援しライフステージにおける移行支援の面でもスムーズな切り替えが出来るように日常的に他者と関わる場を積極的に提供していきます。							
家族支援		ご家庭の就労に影響がないように送迎時間や預かり時間の考慮をします。急な対応などにも臨機応変に対応しています。			移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた地域の生活の場や育ちの場との交流や情報交換。関係各所との定期的なケース会議や情報交換。		
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流や情報交換。インクルージョン(包括的)の視点から様々な年代との交流などが出来るように支援しています。			職員の質の向上		職員が自分で考えて実践する社内勉強会研修の実施。職員の資格取得の支援を会社が行っています。		
主な行事等		季節ごとの行事 遠足、夏祭り、芋掘りBBQ（家族参加型）餅つきイベントなどを行っています。総勢200名近い大規模なイベントなどもありご家族様ご兄弟なども参加し社内グループ全体のご利用者様で交流なども楽しめます。							